

令和3年第3回浦幌町議会定例会 一般質問通告一覧表

1番 河内 富喜 議員

- 新型コロナウイルス感染症への対応
- デルタ株から子ども達を守る対策

2番 伊藤 光一 議員

- 一般廃棄物（ゴミ）問題

3番 沼尾 昌也 議員

- 浦幌町内のイベントや行事の再開に向けて

令和3年 8月30日
午前・午後 8時53分

項目ごと ・ 一括

令和3年 8月30日

浦幌町議会議長 田村寛邦様

浦幌町議会議員 河内富喜

一般質問通告書

浦幌町議会会議規則第61条第2項の規定により、次のように通告します。

記

| 項目 | 要 旨 (内 容) |
|--------------------|---|
| 1 新型コロナウイルス感染症への対応 | <p>国は、ワクチンの2回接種について8月20日、国民全体では39.7%、高齢者については85.4%が完了していると公表した。</p> <p>現状は、デルタ株の置き換わりや緊急事態宣言・まん延防止措置の形骸化などにより全国的に感染拡大が続いており、多くの町民もワクチンの2回接種が完了すれば、平穏な日常が戻ってくると期待していたと思われるが、どうも様子が違うと感じさせる状況にある。</p> <p>そこで、我が町の対策の現状と今後の新型コロナウイルス感染症（デルタ株）などへの対応策について伺う。</p> <p>1 新型コロナウイルスのワクチン接種に消極的な人、特に若い世代の人が多いと聞かすが、本町の現状はどうか。また、接種を希望しない方への対応策は考えているか。</p> <p>2 ブレイクスルー（2回接種後）感染の危険性が取りざたされているが、新型コロナワクチン接種後</p> |

| | |
|--------------------------|--|
| <p>2 デルタ株から子ども達を守る対策</p> | <p>の、マスク装着の必要性と3回目接種についてどのように認識しているか。</p> <p>3 ウイルス量が従来株の1200倍とされているため、デルタ株への置き換わりが現在の感染拡大に繋がっていると指摘されている。感染力が強いため、従来型より厳しい予防対策が必要であるが、更なる予防策の周知と対応策についてどのように考えているか。</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症はもはや災害レベルであり、ほか各種災害などに対応するためにも、行政のBCP（業務継続計画）が必要であると考えますが早急に検討する考えはないか。</p> <p>現在、デルタ株の子ども達への感染が急速に広まっている。子どもは、新型コロナウイルスに感染しても、比較的軽症であるとされていたが、重症化するケースも出てきている。今後の状況や子どもからの家庭内感染はもちろん施設運営などへの影響も心配されることから、学校施設・児童保育施設・児童福祉施設等における感染予防策と感染（判明）後の対応策について伺う。</p> <p>1 これら子ども達が通う施設における予防・対応策について、国・道等からの指導、助言等はあるのか。ある場合、その内容はどのようなものか。</p> <p>2 町独自の対策として、現在行っている対策はどのようなものか。また、現在置き換わりが進むデルタ株を想定した予防・対応策についてはどうか。</p> |
|--------------------------|--|

令和 3年 9月 1日
午前・午後 1時45分

項目ごと ・ 一括

令和3年 9月 1日

浦幌町議会議長 田村寛邦 様

浦幌町議会議員 伊藤光一

一般質問通告書

浦幌町議会会議規則第61条第2項の規定により、次のように通告します。

記

| 項目 | 要 旨 (内 容) |
|-----------------|--|
| 一般廃棄物（ゴミ） 問題 | <p>一般廃棄物であるゴミは、リサイクルできるものを含め、生活する上で必ず発生するものであり、これにつながる環境問題は世界的な問題となっており、本町においても、分別回収等を行い、ゴミ減量を推進している状況は望ましいと考えていますが、今一度、町全体でゴミに関する問題の再認識を行うことは重要であると考えますので、以下の点について考えを伺います。</p> <p>1. ゴミの問題は、各自治体において、個別的に取り組むべき課題であり、例えば、いわゆるゼロウェイストと称して、実際にゴミゼロを目指している自治体があります。</p> <p>たしかに、ゴミゼロを目指すためには、町だけではなく、町民、企業等、町内で活動又は生活する全ての関係者が協力する必要があると、大変困難な課題であると考えますが、今の時代背景にマッチしており、浦幌町という自治体の個性も発揮できるのではないかと感じております。そこで、ゴミゼロを目指す考え方について、本町はどのように考えていますか。</p> |

2. 第4期まちづくり計画においては、基本目標4「豊かな自然環境の保全と快適に暮らせるまちづくり」の中で、「ごみ収集や処理体制の充実」や「ごみ減量化の促進」を掲げ、具体的には、分別収集体制の充実や、広報・啓発活動の推進等を通じた適正な分別排出の徹底に努めるとされております。

しかしながら、現状は分別が徹底されておらず、昨年、VOICE（町民の声）においても、その点を指摘されており、町としても「リサイクルステーションへ分別されていないごみやルールが守られていないごみの投棄、一般ごみなどが混入している場合が増え、資源ごみとして収集できないものが混入され、対応に大変苦慮しています。」とその現状を認めておられます。

思うに、現状の広報活動ではインパクトがなく、町民が興味を持つような広報のあり方が必要であると考えており、例えば、横浜市においては、AIによるゴミの分別を教えてくれるサイトやアプリが存在し、煩わしいゴミの分別を楽しく学ぶことができ、ゴミの分別に対する意識が高まると話題になっています。

本町としても、様々な自治体のゴミに対する施策を参考にしながら良い施策は積極的に取り入れてほしいと考えますが、どのように考えますか。

3. 紙おむつは、近年非常に需要が高まっており、多くの市町村においては、紙おむつの排出に関しては、無料としています。本町においても、紙おむつ排出助成として、おむつ専用シールを満2歳までとして125枚を無料で支給し、同シールを貼った場合には、無料で回収するとされています。

子どもの成長は人それぞれであり、例えば、3歳を超えてもおむつが取れない子供もおり、その場合は燃えるゴミとして出すしかありません。しかも、年齢が進むにつれ、紙おむつ自体も大きくなり、ゴミとして出す排出量も増え、家庭の負担が大きくなるのは想像に難くありません。

そこで、おむつ専用シールを廃止し、紙おむつは無料で回収することにすれば、シールを作成しなくてもよく、また、年齢に関わらず、紙おむつを使用する家庭の負担も軽減すると考えますが、町としてどのよう

に考えますか。

4. 道路の街路樹に関し、秋になると落ち葉等が大量に散りますが、この落ち葉等は、現在、道路近辺に居住する住民が清掃し、その住民の負担にて有料ゴミ袋を使用している状況があります。

町のゴミ分別パンフレットによると、ボランティア清掃ごみは、無料で回収してもらえることになっていますが、そこには、「町内会などの団体で、ボランティア清掃をした際に集めたゴミは」との記載から、個人が自主的に清掃したものは含まれないのではないかと考えられます。また、このゴミがボランティア清掃ゴミにあたるとしても、事前に町に対して連絡が必要であることから、毎年一定の時期に都度連絡するのも気が引けるという町民の気持ちも理解できます。

そこで、是非町の広報により、道路上の落ち葉等は、無料で回収する旨情報発信をしておくことにより、町民が安心して道路上の落ち葉等を清掃しゴミとして搬出できると考えますが、町としてどのように考えますか。

5. 紙はリサイクルが可能ではあるものの、再生紙を製造する際に、二酸化炭素の発生量が古紙を使用しない場合よりもより多く発生し、より温暖化や昨今の気象変動に影響するとも言われており、今後は可能な限り印刷物を使用しないペーパーレス化は環境保全の観点からも望ましいと考えており、本町の第4期まちづくり計画にも取り入れられている SDGs の理念にも合致していると考えます。

議会では、上記 SDGs の理念を尊重すべく、今年度からタブレットを使用し、少しずつではありますが会議資料のペーパーレス化に取り組んでおりますが、このペーパーレス化について、町としてどのように考えますか。

以上

令和3年 9月 2日

午前・午後 9時00分

項目ごと ・ 一括

令和3年 9月 2日

浦幌町議会議員 田村寛邦様

浦幌町議会議員 沼尾昌也

一般質問通告書

浦幌町議会会議規則第61条第2項の規定により、次のように通告します。

記

| 項目 | 要 旨 (内 容) |
|-----------------------------|---|
| 浦幌町内のイベント や行事の再開に向け て | <p>新型コロナウイルス感染症対策として、9月12日まで「緊急事態宣言」が発令されたところであるが、ワクチン接種事業については、希望される方には順調に接種されており、本町では、満12歳以上の対象者の7割程度がワクチン接種を完了している。</p> <p>これからの新型コロナウイルス感染症の感染状況の推移は、十分注視しなければならないが、同時にどのように町民の生活を感染拡大前の形に戻していくかも重要だと考える。</p> <p>本年は、みのり祭りや盆踊り、行政区の集会等多くのイベント及び行事が中止、または縮小されてきた。その中で、今後ワクチン接種が進み、感染拡大前のイベント及び行事の再開を目指す際に、開催及び中止の判断や、開催時の対応等が苦慮されることが予想される。</p> <p>そのため、以下の点について伺う。</p> <p>1 町が主催のイベント及び行事については、どのような判断基準で開催、中止をしているか。</p> |

2 浦幌町内のイベント及び行事を主催する団体は、開催、中止の判断で悩まされていることを聞いている。北海道がガイドラインを出しているが、大まかなものであるため、町としてイベント及び行事の開催、中止の判断基準を公表し、民間の団体が参考にできるようできないか。

3 今後、感染拡大前のようにイベント及び行事を開催していくことになると、当分の間、アルコール消毒や体温管理等の対策を講じる必要が出てくると予想するが、予算が十分に確保できない団体もあると考える。何か町として対応する考えはないか。